

大洗町第6次総合計画に基づく令和6年度事業評価 政策別評価一覧

政策3
観光を中心とした共創による儲かる地場産業のまちづくり

(R7.7月末時点)

施策 No.	施策名	個別 施策	重点	具体的な取組み	評価				担当課
					R3d	R4d	R5d	R6d	
3-1	観光の振興	3-1-1	○	海の多樣的利活用の推進	B	B	B	B	商工観光課、まちづくり推進課
		3-1-2	○	産学官民連携による共創の観光地づくりの推進	B	B	B	B	商工観光課、まちづくり推進課
		3-1-3	○	地域資源を生かした「食」開発の推進	B	B	B	B	商工観光課
		3-1-4		SNSの特性を活かした情報発信	B	B	B	B	秘書広報課、商工観光課
3-2	観光を中心としたまちづくりの推進	3-2-1	○	まちづくりの骨格となる交通ネットワークの充実	B	B	B	B	都市建設課
		3-2-2		活力と魅力溢れる水辺空間の整備と利活用の推進	B	B	B	B	都市建設課
		3-2-3		魅力あるみなとまちづくりの推進	B	B	B	A	まちづくり推進課、都市建設課
		3-2-4	○	公共交通の充実	B	C	B	B	まちづくり推進課
3-3	水産業の振興	3-3-1	○	資源管理型漁業及び栽培漁業の促進	B	B	A	A	農林水産課
		3-3-2	○	水産物の販売促進・販路拡大	B	B	B	B	農林水産課
		3-3-3		経営基盤の強化及び団体の育成	B	B	A	A	農林水産課
3-4	農業の振興	3-4-1	○	農業生産基盤の充実	B	B	B	B	農林水産課
		3-4-2		担い手の育成	B	B	B	B	農林水産課
		3-4-3	○	地域資源の活用	C	C	B	B	農林水産課
3-5	商工業の振興	3-5-1	○	商店街の特性を活かした賑わい整備	C	B	B	B	商工観光課
		3-5-2		創業支援と人材育成の推進	B	B	B	B	商工観光課

第6次大洗町総合計画 令和6年度事業評価シート

施策番号	施策名
3-1	観光の振興

担当課
商工観光課、まちづくり推進課、秘書広報課

	施策	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)			現状値(令和6年度)	
				令和3年	令和4年	令和5年	目標値	実績値
KGI	-	観光入込客数	430 万人	278 万人	401 万人	428 万人	450 万人	449 万人
KGI	-	観光消費額（宿泊）	25,000 円/人 (令和元年度)	—	30,467 円	—	27,500 円/人	39,571 円
KPI	3-1-1	海を活用した新たなイベントの開催	新規設定	—	2 件	3 件	3 件	3 件
KPI	3-1-1	釣り場環境の整備	未整備	未整備	未整備	未整備	1 か所	未整備
KPI	3-1-2	道の駅おおあらい(仮)の整備	未整備	未整備	未整備	未整備	1 か所	未整備
KPI	3-1-2	サイクルサポートステーションの拡充	2 施設	6 施設	8 施設	11 施設	8 施設	14 施設
KPI	3-1-3	地域資源を活用した新たなグルメ開発	新規設定	4 品	4 品	4 品	4 品	5 品

令和6年度の実組み及び前期計画を総括した自己評価(※A～D)			評価
3—1—1	海の多樣的利活用の推進	商工観光課、まちづくり推進課	B
取組内容や 今後の方針	例年行われている、サーフィンやビーチバレー等のイベントを行う一方、R6 年度については、大洗海上花火大会における音楽フェス・サウナイイベントや Night Wave OARAIに代わり(一社)大洗観光協会主催の Night Park OARAI、民間団体主催のサンドフラッツなどを行い、海を活用した新たなイベントが行われた。今後についても、海の多樣的利活用の推進に向けて現代ニーズを探求し、新たな魅力の創出を図っていく。 ◇海を活用した新たなイベント ・大洗海上花火大会における音楽フェス・サウナイイベント(R6.9.28) ・(一社)大洗観光協会主催 Night Park OARAI (R6.10.18-20) ・民間団体主催 サンドフラッツ(R7.3.22-23) ひたちなか大洗リゾート構想における取り組みの一つとして、富裕層をターゲットとした国際カジキ釣り大会を、県主導により引き続き開催した。また、釣り場開放に向けては、実施主体や実施場所など、様々な課題があるため、引き続き、県や関係団体との協議を進める。		
3—1—2	産学官民連携による共創の観光地づくり	商工観光課	B
取組内容や 今後の方針	官民連携による観光コンテンツとして、大洗海上花火大会での音楽フェス・サウナイイベントや(一社)大洗観光協会との連携により大洗磯前神社でライトアップイベントを行った。また、サイクルサポートステーションについては R6 年度に 3 施設追加により登録施設は 14 となった。町営キャンプ場については、利用客の利便性向上を目的に指定管理となり官民連携による一元的な管理運営を R4 年度より行っている。今後についても、産学官民連携により、それぞれの持つノウハウを共有し、共創の観光地づくりの推進に取り組んでいく。		

(次のページへ続く)

令和6年度取組み及び前期計画を総括した自己評価(※A～D)			評価
3—1—3	地域資源を活かした「食」開発の推進	商工観光課	B
取組内容や今後の方針	R6年度については、ひたちなか大洗リゾート構想により開発された4品のうち、「ほしいもシェイク」に特化したキャンペーンを行った。また、シン・いばらきメシ総選挙 2024 への参加に向けた、グルメ開発を行い「あんこうと地野菜たっぷりの食べるスープ」の考案・出店を行った。今後についても、豊かな地域食材を活用し、地域内外に親しまれる地域グルメの創出に取り組むとともに、普及促進を図っていく。		
3—1—4	SNS の特性を活かした情報発信	商工観光課、秘書広報課	B
取組内容や今後の方針	町公式 LINE やアライッペ公式 X を活用して、イベント・行事情報、広報紙発行についてリアルタイムでの情報発信しており、詳細な情報については、町ホームページへ誘導している。また、地域外への情報発信は、上記SNS発信のほかに観光協会、うみまちテラスと連携して各々の SNS にて発信している。 地域外については、町公式 LINE を有効活用し、イベント等の情報発信に努めていく。 ◇地域外への観光情報、イベント情報の発信 （一社）大洗観光協会 …… X、Instagram、Facebook ◇地域内への情報発信 大洗町 …… LINE(登録数約 6,000、ポスト 500 件) …… アライッペ X(フォロワー約 7,000、ポスト 140 件)		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-1-1	委員：大洗町で正式に釣りができる場所はどこか。 担当：第1埠頭から第4埠頭は釣り禁止になっている。正式に釣りができる場所は、大洗サンビーチの砂浜からの投釣りと、大洗海岸における投釣りのみである。
3-1-1	委員：共創の観光地づくりに向け、様々な取り組みをしていることは承知している。イベント等を実施することで、町の知名度の向上や収益に繋がるものは継続していただきたいが、そうでないものについては見直しを図るなど、メリハリをつけて取り組んでいただきたい。
3-1-3	委員：ほしいもシェイクの反響は。 担当：人気商品ではあるが、まだ爆発的なヒットには至っていない。サザコーヒーさんでも商品化してくれたので今後の展開に期待したい。 委員：夏場は冷やした焼き芋を試してみてもどうか。アイスのような感覚でとてもおいしいと思う。 担当：次回の検討会議等で提案してみる。
全体	委員：観光入込客数はほぼ目標をクリアしており、観光消費額についても物価高の影響はあるにしろ目標を大きくクリアしている。特に 3-1-1、3-1-2 については、A評価でも良いのではないかと。 担当：目標達成に向けて取り組んできたが、一部目標をクリアできなかったものがあるほか、まだまだ延ばすことができると考え自己評価はB評価とした。 委員：まだまだ伸びしろがあると期待して、あえてB評価で承知した。

第6次大洗町総合計画 令和6年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-2	観光を中心としたまちづくりの推進	都市建設課、まちづくり推進課

	施策 No.	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)			現状値(令和6年度)	
				令和3年	令和4年	令和5年	目標値	実績値
KGI	-	地域ブランド調査の魅力度ランキングにおける魅力度の点数	7.6 Pt (令和元年)	11.2Pt	11.7Pt	12.5Pt	8.6 Pt	11.4pt
KPI	3-2-1	都市計画道路の整備延長	19.3km	19.4 km	19.9km	20.0 km	20.2 km	20.1 km
KPI	3-2-4	大洗鹿島線大洗駅利用者数(年間)	784,750 人	589,082	678,132	748,917	784,750 人	733,415

令和6年度取組み及び前期計画を総括した自己評価(※A～D)				評価
3-2-1	まちづくりの骨格となる交通ネットワークの充実	都市建設課		B
取組内容や 今後の方針	まちづくりの骨格となる都市計画道路関根祝町線及び吉沼磯浜線について、早期開通を目指し、計画的に整備を進めている。 また、ひたちなかリゾート構想推進協議会において、過年度に行った交通状況調査、実証実験を基に、効果的な渋滞対策を図っていく。			
3-2-2	活力と魅力溢れる水辺空間の整備と利活用の推進	都市建設課		B
取組内容や 今後の方針	旧海門橋の橋脚跡や河岸の浸食など危険箇所、サップやカヤックなど水辺のアクティビティ、ウォーキングやサイクリングコースの整備、施設のバリアフリー化など水辺プラザの利用状況や計画について国と意見交換を行った。今後も国と連携し、「誰もが利用しやすい空間」の整備に取り組んでいく。			
3-2-3	魅力あるみなとまちづくりの推進	まちづくり推進課		A
取組内容や 今後の方針	国内クルーズ船の歓迎施策だけでなく、近年定着しつつある外国クルーズ客船の寄港に際し、町内児童生徒による英語でのおもてなし・案内活動を行うなど、魅力あるみなとまちづくりの推進に努めた。また、フェリー新造船の就航に際し、町とカーフェリーの繋がりを再認識してもらうため、ホームページや広報誌で町民に向けた周知を行った。今後は、町民がカーフェリーに親しみを持ってもらえるよう、乗船体験の実施などを検討していく。令和5年度に長年の悲願であった外国クルーズ客船の入港を果たすとともに定着しつつあること、又、魅力度ランキングの上昇に寄与していることから A 評価とした。 また、主要地方道水戸鉾田佐原線において、県による沿道の電線地中化工事が行われており、良好な街並みの形成が進められている。 (参考)クルーズ船寄港回数 R1/4回 R6/7回(国内5回、国外2回)			

(次のページへ続く)

令和6年度の実施計画及び前期計画を総括した自己評価(※A～D)			評価
3—2—4	公共交通の充実	まちづくり推進課	B
取組内容や 今後の方針	令和5年度策定した「大洗町地域公共交通計画」に基づき、令和6年度から町内公共交通再編の検討を進めている。併せて令和6年度に実証実験として開始した500円タクシーについても重要な町民の移動手段の一つとなっている。 また、大洗駅における循環バスや民間タクシー乗り場など二次交通への誘導案内について、令和6年度末大洗駅へ設置し利用者によりわかりやすい案内表示を行うことができた。引き続き、町民・観光客ともに利便性の高い公共交通となるよう、検討を進めていく。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-2-1	委員：交通状況調査や実証実験について、取組内容とその結果を、簡単に説明願う。 担当：大洗町に入るにあたって、国道51号の塩ヶ崎交差点を過ぎた平戸橋方面に斜めに降りる道が渋滞発生箇所となっていることから、国道51号をまっすぐ南下し、サンビーチ方面へ迂回するルートが空いていることを通過所要時間にて表示し、誘導するための電光表示板を設置した。その結果、迂回ルートを通る車両が増え、国道51号～平戸橋の道路における渋滞緩和に効果があった。
3-2-2	委員：水辺空間の活用について、国土交通省の事業を活用して水辺プラザを整備するといったイメージか。 担当：国土交通省に協力はいただくが、事業としては那珂川緊急治水対策プロジェクトや流域治水ではなく、河川計画に関連した事業となる。その方面で今年度から国で事業化いただいており、今後、地域活性化に向けた連携方策を進めていく。
3-2-3	委員：自己評価についてAで異論はないが、昨年のB評価からA評価に改善した理由や考え方について記載したほうが良い。例えば、KGI 魅力度ランキングのポイントが目標を達成しているからAとした、など。
3-2-4	委員：計画に記載のあるキャッシュレス決済について、取組内容では触れられていないが、記述があった方が良いのでは。 担当：キャッシュレス決済については、町の循環バスでは導入できていないが、茨城交通の路線バスの方で対応が既に可能となっており、導入にあたっては町も一部支援している。 委員：町民向けの公共交通と観光客向けの公共交通、2つの視点があるといった説明があったが、それぞれの視点で、どういったことが今後重要になると考えられ、そのためどういった取り組みが必要になるかなど、今後の検討状況について記載しても良いのは。 担当：町民と観光客、どちらの視点においても、バリアフリーや利便性の向上といった、利用者のニーズにあった施策の実施が必要と考えているが、そういった検討内容は中期計画に既に記載していることから、事業評価にあたっては、令和6年度の実施計画を主として記載している。

第6次大洗町総合計画 令和6年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-3	水産業の振興	農林水産課

	施策	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)			現状値(令和6年度)	
				令和3年	令和4年	令和5年	目標値	実績値
KGI	-	大洗町地方卸売市場水揚数量	1,481t	1,301 t	1,222 t	1,491 t	1,481t	946 t
KGI	-	大洗町地方卸売市場水揚高	509 百万円	648 百万円	790 百万円	1,265 百万円	509 百万円	795 百万円
KPI	3-3-1	アワビの種苗放流数(年間)	25,000 個/年	25,000 個/年	33,400 個/年	28,100 個/年	30,000 個/年	28,700 個/年
KPI	3-3-1	ハマグリ稚貝の移植放流数	3 t /年	4 t /年	4.6 t /年	6.2 t /年	5 t /年	7.5 t /年
KPI	3-3-2	販売促進・販路拡大協議会の開催	新規設定	2 回/年	7 回/年	4 回/年	2 回/年	3 回/年
KPI	3-3-2	水産業界主体イベントの支援	新規設定	5 回/年	12 回/年	13 回/年	12 回/年	14 回/年

令和6年度の取組み及び前期計画を総括した自己評価(※A～D)			評価
3—3—1	資源管理型漁業及び栽培漁業の促進	農林水産課	A
取組内容や 今後の方針	資源管理型漁業及び栽培漁業の取り組みとして、ハマグリの稚貝 7.5tを採捕し、移植放流を大洗町漁業協同組合が実施した。また、茨城県栽培漁業協会から同組合がアワビの種苗 28,700 個を購入し種苗放流を実施した。なお、令和 6 年度の水揚高は、ハマグリは約 113 百万円(R5 約 201 百万円)、アワビが約 33 百万円(R5 約 22 百万円)だった。引き続き、関係機関と連携し、種苗・移植放流数の増加や漁場環境の保全に努め水産資源の維持・増大を図る。		
3—3—2	水産物の販売促進・販路拡大	農林水産課	B
取組内容や 今後の方針	茨城県水産物のブランド化及び認知度向上に向け、県や漁業者・水産事業者と連携し、県のブランド基準を満たした「常陸乃国しらす」「常陸乃国いせ海老」の商品開発に参画し、イベント等においてこれらの販売を実施した。引き続き、販売促進・販路拡大に向け関係機関と連携し取り組んで行く。また、魚食普及の取組みとして、大洗町漁業協同組合が町内の小中学校へハマグリを学校給食食材として提供した。		
3—3—3	経営基盤の強化及び団体の育成	農林水産課	A
取組内容や 今後の方針	漁業者・水産関係事業者に対し、経営基盤の強化を図るための経営支援や制度資金に対する利子補給を実施した。 水産業の持続的な成長産業化を図るため、地域が抱える課題を把握し水産業の活力再生を目的とした行動計画(計画期間 5 カ年)である第3期浜の活力再生プラン策定に着手し、令和 6 年 8 月 1 日に水産庁の承認を受けた。今後、プランに基づいた事業を展開していく。		

(次のページへ続く)

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
KG I	委員：令和5年度に比べ令和6年度の水揚げ数量及び水揚げ高が減少している理由は。 担当：水揚げ数量については、令和5年度はハマグリの操業が12回できたのに対し、令和6年度は海の状況が悪かったため7回の操業になったことが大きな理由。水揚げ高に関しては、令和5年度のしらす漁は、豊漁だったことに加え他産地では不漁だったため魚価が高かった。令和6年度は水揚げ数量が少なかった割に、令和5年同様に魚価が高かったため、前年度との比較では減少しているが、水揚げ高の目標値は大きく上回っている。
3-3-2	委員：イセエビの状況は。漁場が北の方になっていると聞くんが。 担当：令和6年度は、イセエビの水揚げがあり漁協主催のとれたて市にて「常陸乃国いせ海老」として販売した。令和7年6月時点では、潮流の関係等で、水揚げが少ない状況が続いている。
3-3-3	委員：水産庁から第3期浜の活力再生プランの承認を受け、今後、どのような事業を展開していくのか。 担当：漁業作業の軽労化を図るため、車への積み込み作業ができるリフターやベルトコンベアーで移動している間に重さを計れる自動計量器、市場内で使う海水の温度を下げる機材の設置を検討している。

第6次大洗町総合計画 令和6年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-4	農業の振興	農林水産課

	施策	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)			現状値(令和6年度)	
				令和3年	令和4年	令和5年	目標値	実績値
KGI	-	農業産出額	195 千万円	187 千万円	192 千万円	203 千万円	195 千万円	206 千万円
KGI	-	担い手への農地利用集積面積	269ha	255ha	263ha	284ha	285ha	280ha (※264ha)
KPI	3-4-1	基盤整備工事实施地区	大貫地区	向谷原地区	向谷原地区	向谷原地区	向谷原地区	向谷原地区
KPI	3-4-3	地域間交流人数(松川地区交流施設の年間利用者数)	14,700 人	12,600 人	14,100 人	13,800 人	22,000 人	15,000 人

※地域計画(令和7年3月に策定)に位置付けた担い手農家の実績値

令和6年度取組み及び前期計画を総括した自己評価(※A～D)			評価
3—4—1	農業生産基盤の充実	農林水産課	B
取組内容や今後の方針	向谷原地区については、向谷原地区評価換地及び工事委員会において、県とともに土地改良事業(換地計画原案作成)に向けて取り組んだ。 夏海地区については、夏海地区(畑作農地)土地改良事業推進協議会、県及び大洗町農業委員会とともに協議を重ね、土地改良事業調査計画に着手した。引き続き、関係機関や地権者等と協議し、事業を進めていく。		
3—4—2	担い手の育成	農林水産課	B
取組内容や今後の方針	農業経営・拡大を志向する意欲ある担い手農家(認定農業者)に対して、農業機械購入費などの一部を支援した。また、県や関係機関と連携し個別就農相談会等を実施し、令和6年度に新規就農者(1名)が生まれた。 向谷原地区基盤整備事業において、地権者に対して意向調査を実施し、売却希望農地に対して担い手農家の選定を行い、農地集積に取り組んだ。 引き続き、関係機関等と連携し、認定農業者の支援や新規就農者の育成に取り組んでいく。		
3—4—3	地域資源の活用	農林水産課	B
取組内容や今後の方針	松川交流拠点施設「夕日の郷松川」の令和6年度キャンプ・BBQ利用収入は、対前年度比90%となった。年間を通した利用促進を図っていく。 地産地消の取組みとして、ブランド認証品「大洗日の出米」や夏海地区の甘藷を学校給食に活用した。 町土地改良区と連携し、水源のかん養等の機能を有する農地や農道・水路等の保全や維持管理に取り組んだ。		

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-4	説明及び自己評価に関する異議や意見なし

第6次大洗町総合計画 令和6年度事業評価シート

施策番号	施策名	担当課
3-5	商工業の振興	商工観光課

	施策	目標及び指標	基準値 (令和2年)	推移(年度末)			現状値(令和6年度)	
				令和3年	令和4年	令和5年	目標値	実績値
KGI	-	町内事業者数	587 事業者	586	585	576	587 事業者	560 事業者
KPI	3-5-1	商店街活性化会議の開催	新規設定	0 回	1 回	2 回	2 回/年	2 回
KPI	3-5-1	地域通貨の電子化	新規設定	未実施	未実施	未実施	実施	未実施

令和6年度の取組み及び前期計画を総括した自己評価(※A～D)			評価
3—5—1	商店街の特性を活かした賑わい整備	商工観光課	B
取組内容や 今後の方針	商店街との情報共有・活性化を図るため、商店街活性化会議を2回開催し、町支援制度・空家店舗の活用についての説明や協議を行うとともに、地域通貨など購買システムの近代化の協議を行った。また、広報誌においてもアライッペのまちみせ散歩と題して町内のお店の紹介コーナーを毎月掲載している。 がんばる商店街支援事業についても、R6年度は4商店会の申請があり、商店会における自主イベント等への支援を行った。 今後についても、商店街の特性を活かした賑わい整備を行っていく。 ◇商店街活性化会議(第一回:R6.11.28 第二回:R7.3.24) ◇がんばる商店街支援事業(R6年度 4商店会) ・商店会における自主イベント等への支援 補助率 2/3 限度額 20万円		
3—5—2	創業支援と人材育成の推進	商工観光課	B
取組内容や 今後の方針	町内で新たに創業する事業者(創業後 5 年未満まで可)に対し、広報・販路拡大のためのプロモーション活動における対象経費の一部を補助する「創業ビギナープロモーション支援補助事業」を引き続き行い、創業支援を行った。また、町支援により、商工会による創業支援セミナーのほか、インボイスセミナーや事業計画作成セミナー、リピーターを引き寄せる、接客・接遇の基本セミナー等人材育成に繋がるセミナーの開催し、創業支援・人材育成の推進を行った。 今後についても、引き続き推進活動を行い、事業後継者や創業間もない経営者への学びの場を提供し、経営の安定化を支援していく。 ◇新たな創造支援策の実施 ・「創業ビギナープロモーション支援補助事業」 利用実績 R6:2 件 ◇商工会による各種セミナーの開催 ・インボイスセミナー ・創業支援セミナー ・事業計画作成セミナー ・google ビジネスプロフィール活用セミナー ・リピーターを引き寄せる、接客・接遇の基本セミナー		

(次のページへ続く)

審議内容(委員意見や質疑内容など)	
3-5-1	委員:地域通貨の電子化については、いつ、誰が、どのような商品を購入したかが分かるなど、業務の効率化に繋がるといったメリットがある一方で、プラットフォームの構築などに多額の費用がかかるため、必要性を良くご検討いただきたい。 委員:他市町村では、地域通貨プラットフォームサービス chiica(チーカ)を導入している例もある。スマホアプリだけでなくカードタイプも用意されている。自治体からのポイントやお店からのポイントも一体化でき、プレミアム商品券などにも対応しているので、ぜひ参考にしてみたい。 担当:今後も地域通貨については利用者に受け入れられるのかどうか、商工会・商店会なども含め、しっかり協議し検討していきたい。
3-5-1	委員:くらし応援商品券を購入した方の年齢層は。 担当:30代~40代の子育て世帯及び高齢者が多かった。